

近代文学研究叢書

第六十一卷

昭和女子大学

近代文化研究所

近代文学研究叢書

第六十一卷

昭和63年10月5日 初版印刷発行

〔定価 8,000円〕

著者	昭和女子大学近代文学研究室
発行者	加藤 地三
印刷所	大文堂印刷株式会社
発行所	昭和女子大学近代文化研究所 東京都世田谷区太子堂一―七 振替口座東京四―一七〇八六七 電話 (四) 五一―二番(代)

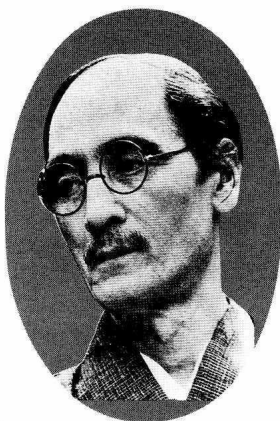
近代文学研究叢書



細江逸記
(1884・9・28～1947・3・11)



水野葉舟
(1883・4・9～1947・2・2)



野口米次郎
(1874・12・8～1947・7・13)



幸田露伴
(1867・7・23～1947・7・30)

61
卷

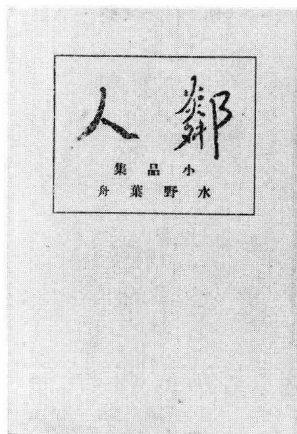


菊池幽芳
(1870・10・27～1947・7・21)

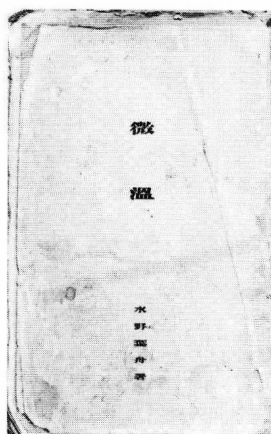
水
野
葉
舟



旧居（成田市駒井野）



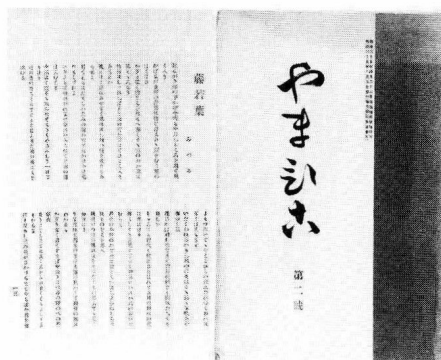
「隣人」
昭和18年8月刊



「微温」
明治42年11月刊



「あらゝぎ」
明治39年7月刊



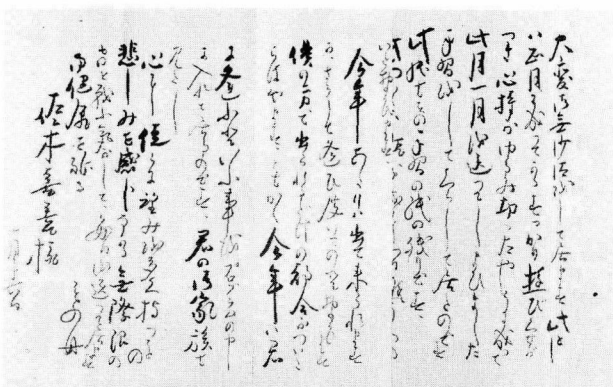
「藤若菜」山比古 明治35年6月



「長夜吟」文庫 明治33年4月

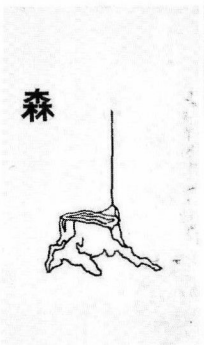


歌碑（成田市三里塚公園）



書簡（佐々木喜善宛）

（成田図書館蔵）



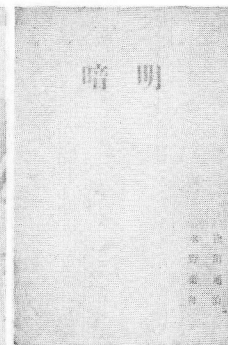
「森」
明治45年7月刊



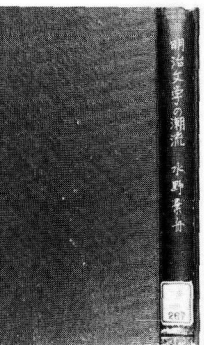
「壁面」
明治44年4月刊



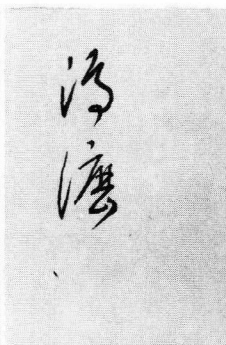
「日記文」
明治43年11月刊



「明暗」
明治39年7月刊



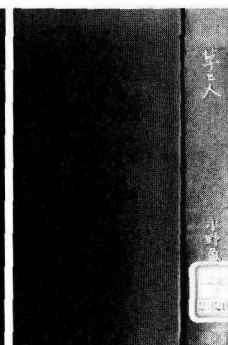
「明治文学の潮流」
昭和19年9月刊



「滴瀝」
昭和15年9月刊



「村の無名氏」
昭和11年12月刊



「草と人」
大正4年6月刊

AN
ADVANCED
ENGLISH SYNTAX

精説英文法汎論

第一巻

文法部
細江逸記著



文芸堂

AN OUTLINE
OF
ENGLISH SYNTAX
HOSOE

英文法汎論

細江逸記著

東京
泰文堂
書店

細江逸記

「精説英文法汎論」昭和17年6月刊
(関西大学図書館蔵)

「英文法汎論」大正15年10月刊
(三康図書館蔵)

STUDIES
IN THE MOOD OF
THE ENGLISH VERB

BY
ITSUKI HOSOE

動詞叙法の研究

細江逸記著



TAIRINDO

AN ENQUIRY
INTO
THE MEANING OF TENSE
IN THE ENGLISH VERB

ITSUKI HOSOE

動詞時制の研究

細江逸記著

TAIRINDO

「動詞叙法の研究」
昭和8年5月刊

「動詞時制の研究」
昭和7年2月刊
(関西大学図書館蔵)



“FOR TOとFOR…TO” 英語青年 大正5年10月



細江文庫 (関西大学図書館)



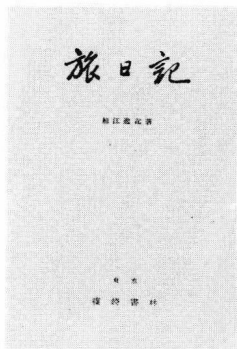
STUDIES
IN THE MIDLAND DIALECT
USED IN THE WORKS OF
GEORGE ELIOT
WITH SPECIAL REFERENCE TO
SILAS MARNER AND ADAM BEDE

TRIA JUNCTA EX UNO
英 国 中 部 地 方 言 の 研 究
關 江 島 記 著

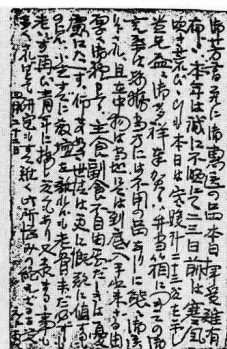


TAIBUNDO
TOKYO

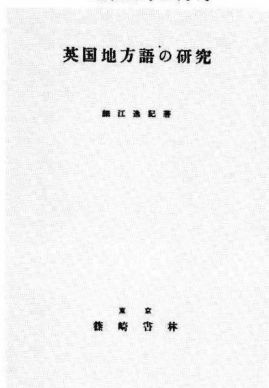
「英国中部方言の研究」
昭和10年12月刊



「旅日記」
昭和26年9月刊



書簡（皆川三郎氏宛）
（皆川三郎氏蔵）

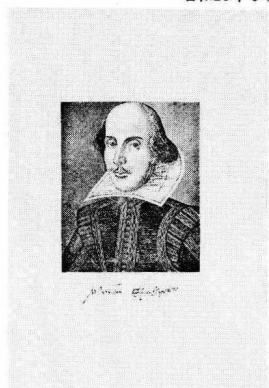


英国地方語の研究

關 江 島 記 著

著 者
關 島 吉 井

「英国地方語の研究」
昭和31年1月刊



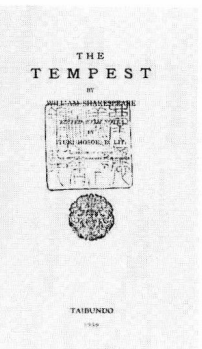
シェクスピアの英語

SHAKESPEARE'S ENGLISH

BY
ITSUKI HOSOE

SHINZAKI SHORIN
TOKYO

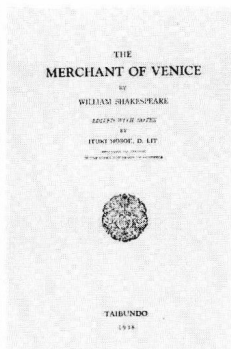
「シェクスピアの英語」 昭和26年5月刊
—掲載書籍 昭和女子大学蔵—



THE
TEMPEST



TAIBUNDO
1950



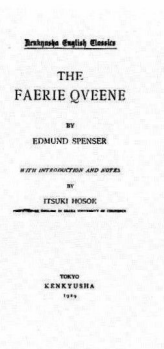
THE
MERCHANT OF VENICE

BY
WILLIAM SHAKESPEARE
EDITED WITH NOTES
BY
ITSUKI HOSOE, D. LIT.



TAIBUNDO
1938

THE MERCHANT OF
VENICE
昭和13年3月刊



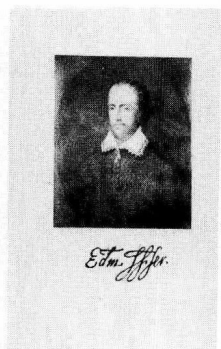
THE
FAERIE QVEENE

BY
EDMUND SPENSER

WITH INTRODUCTION AND NOTES
BY
ITSUKI HOSOE

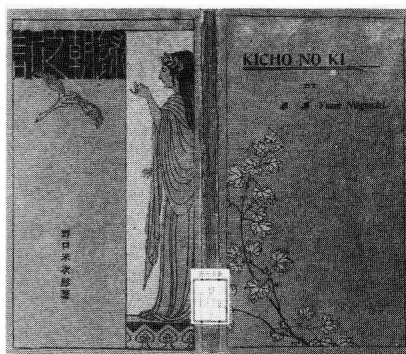
TOKYO
KENKYUSHA
1954

THE FAERIE QVEENE
昭和4年1月刊



Edm. Spenser

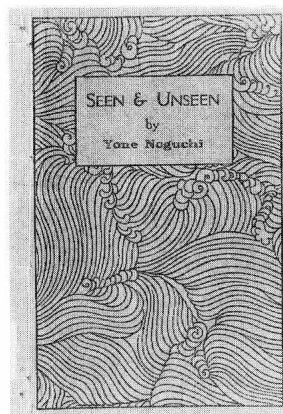
THE TEMPEST
昭和14年5月刊
（慶応義塾大学図書館蔵）



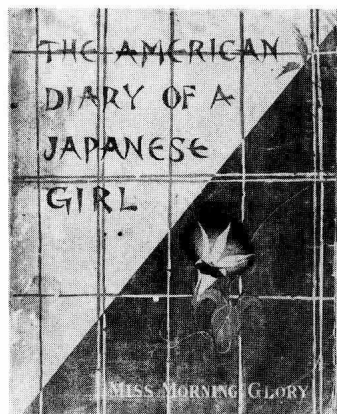
「帰朝の記」 明治37年12月刊

野口 米次郎

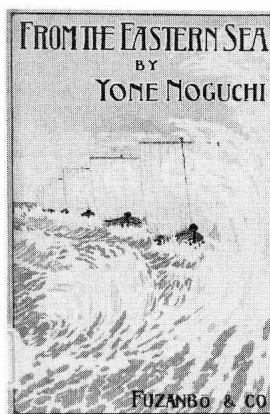
— 掲載書籍 昭和女子大学蔵 —



'SEEN & UNSEEN' (New Edition) Orientalia, New York 1920 (大正9年11月刊)



'THE AMERICAN DIARY OF A JAPANESE GIRL' 明治37年10月刊 (富山房版)



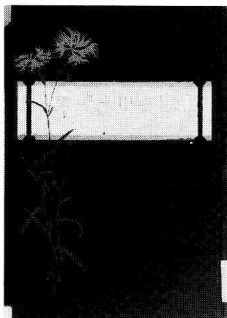
'FROM THE EASTERN SEA' 明治36年10月刊 (富山房版)



「霧の倫敦」 大正12年5月刊



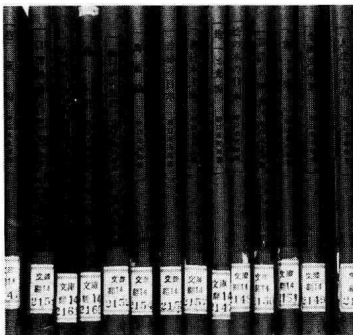
「THE SUMMER CLOUD 夏雲」 明治38年12月刊



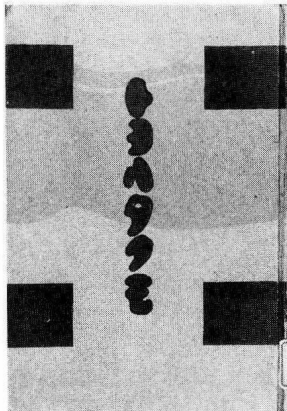
「英米の十三年」 明治38年5月刊



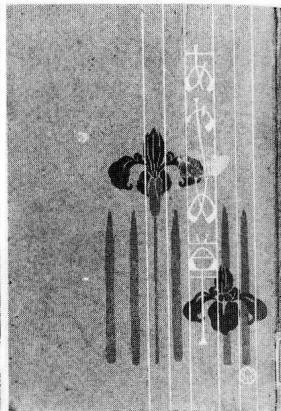
「JAPAN OF SWORD AND LOVE 剣と恋の日本」 明治38年2月刊



「野口米次郎ブックレット」
大正14年11月～昭和2年6月



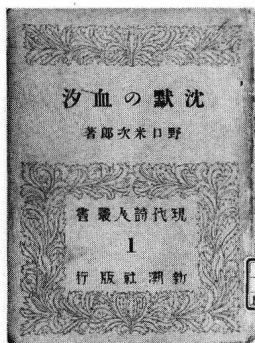
「豊旗雲」
明治39年12月刊



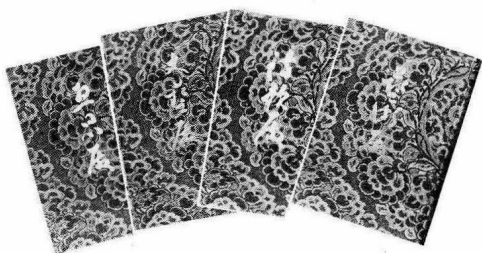
「あやめ草」
明治39年6月刊



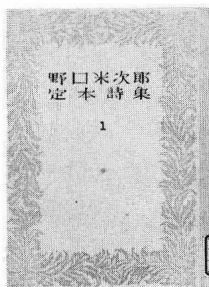
「表象抒情詩」
大正14年12月刊
大正15年9月刊
昭和2年3月刊
昭和2年6月刊



「沈黙の血汐」
大正11年5月刊



右から「芸術殿」昭和17年12月刊
「詩歌殿」昭和18年4月刊
「文芸殿」昭和18年9月刊
「想思殿」昭和18年12月刊



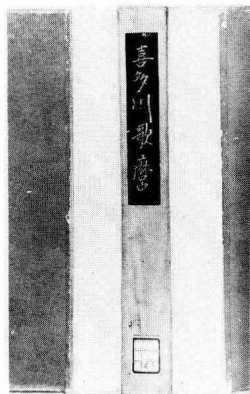
「野口米次郎定本詩集1」
昭和22年3月刊



「我が手を見よ」
大正12年5月刊

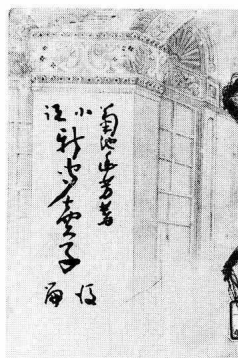


「山上に立つ」
大正12年1月刊



「喜多川歌麿」
昭和6年11月刊

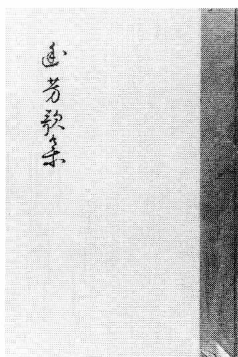
菊池幽芳



「新聞売子」後編
明治33年10月刊



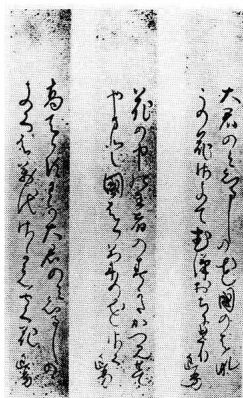
「無言の誓」
明治28年7月刊



「幽芳歌集」
昭和14年6月刊



「幽芳集」
大正4年10月刊



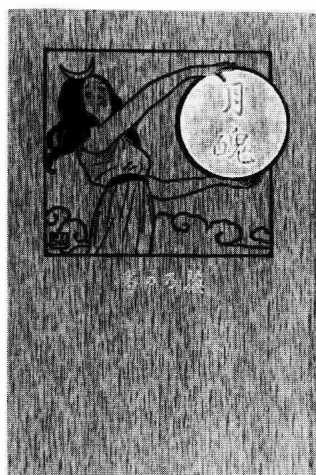
自筆「菊花の歌」三首



「二人女王」
明治36年5月刊



「七日間」前編
明治34年12月刊



「月魄」
明治41年3月刊



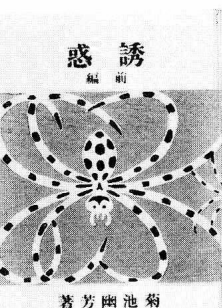
「若き妻」前・後編
明治35年2月、11月刊



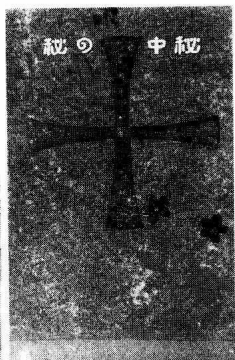
「売花娘」
明治39年2月刊



「夏子」
明治38年10月刊



「誘惑」前編
大正3年3月刊



「秘中の秘」前編
大正2年11月刊



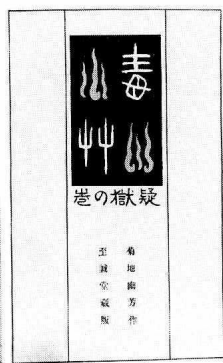
「筆子」
明治39年11月刊



「白衣婦人」
明治39年5月刊(再版)



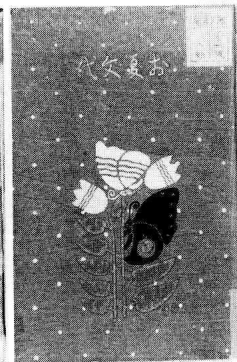
「彼女の運命」
大正12年12月刊



「毒草」
大正6年4月刊



「小ゆき」中編
大正4年4月刊



「お夏文代」
大正4年1月

幸
田
露
伴

何是當成佛
我足已成佛
菩薩我終語
密澤道人

筆 跡



「露伴々」明治23年12月刊
(日本近代文学館蔵)



「有福詩人」
明治27年6月刊



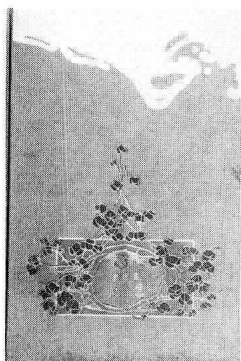
「枕頭山水」
明治26年9月刊



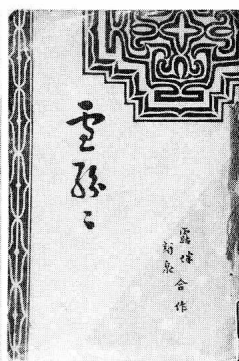
「新葉未集」
明治24年10月刊



「風流仙」
明治22年9月刊



「蘭言」
明治34年9月刊



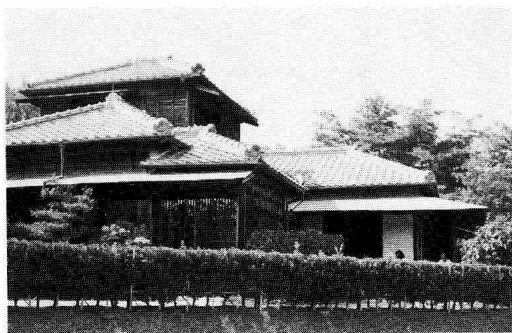
「雪紛々」
明治34年1月刊



「新羽衣物語」
明治30年8月刊

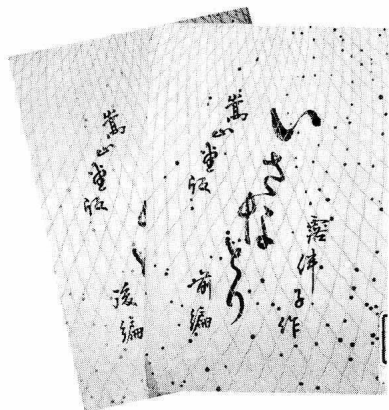


「ひげ男」(再版)
明治30年3月刊

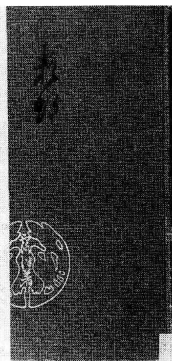


旧居 向島（寺島村）の蝸牛庵（現、明治村）

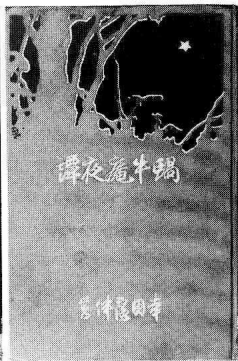
——掲載書籍 昭和女子大学蔵——



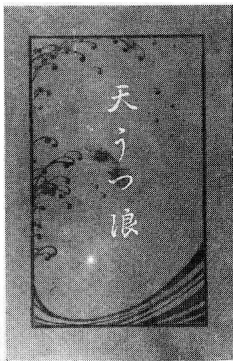
「いさなとり」前・後編
明治24年11月、同25年3月刊



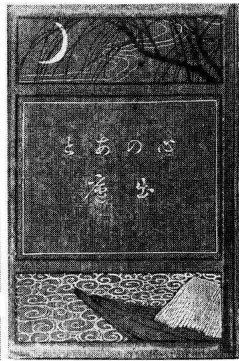
「頼朝」
明治41年9月刊



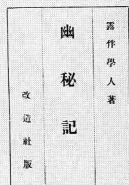
「蝸牛庵夜譚」
明治40年11月刊



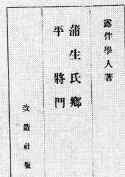
「天うつ浪」
明治39年11月刊



「心のあと 出廬」
明治38年1月刊



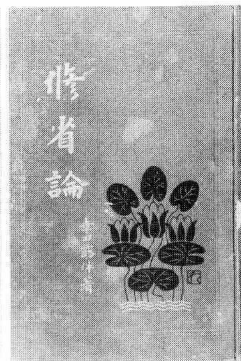
「幽秘記」
大正14年6月刊



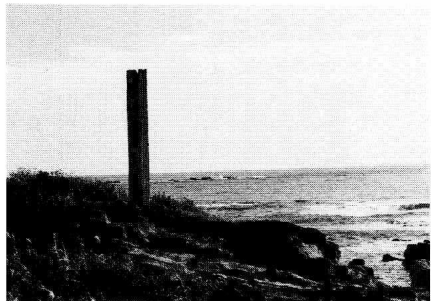
「蒲生氏郷 平将門」
大正14年12月刊



「幽情記」
大正8年3月刊

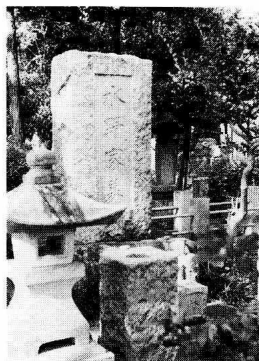


「修省論」
大正3年4月刊



菊池幽芳「己が罪」文学碑（千葉県根本海岸）

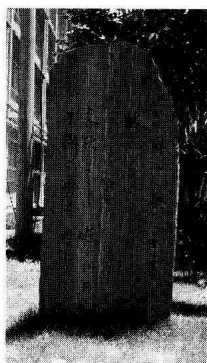
遺跡をたずねて



水野葉舟墓所
多磨霊園（東京都）



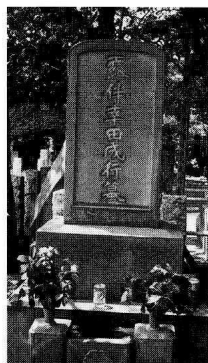
野口米次郎記念碑
（藤沢市 常光寺境内）



幸田露伴
墨田川高校校歌の碑



細江逸記墓所
導故寺（京都市）



幸田露伴墓所
本門寺（東京都）



菊池幽芳墓所
光台寺（水戸市）



野口米次郎墓所
常光寺（藤沢市）

目次

口 絵	一
『近代文学研究叢書』の成立	一四
凡 例	一七
水 野 葉 舟	一九
細 江 逸 記	二五
野 口 米 次 郎	二〇九
菊 池 幽 芳	四一
幸 田 露 伴	四九三
PERSONALITY PROFILES	七四
卷末付記	六二
第六十卷年表補遺	六三
索 引	八三

『近代文学研究叢書』の成立

『近代文学研究叢書』は昭和三十一年一月、昭和女子大学光葉会からその第一巻が発行された。以来、明治期全十二冊、大正期全十三冊、昭和期が本巻を加えて三十六冊を刊行、続刊中である。

本叢書は、創立者人見圓吉（東明）が建学の精神に基づき優れた研究者の養成を目的とし、これによって文学日本の近代相がいささかでも究明出来ればという強い願望により創められたもので、本学学生による近世の国文学者、洋学者についての研究調査をまとめた『文学遺跡巡礼』（昭和十三年十月、第一輯発行）が母胎となっている。

昭和二十年、戦争も末期に近づいた四月の大空襲により、本学は校舎とともに蔵書と未発表原稿の一切を焼失した。青年時代、三木露風、野口雨情らとともに早稻田詩社をおこして活躍したかつての詩人東明は、この時から明治の詩書をはじめ近代文学関係の文学書の蒐集にとりかかり、現在の近代文庫の基礎が固められた。神田の古書展では「文学書の値をつり上げる」という評判が立つほどの蒐集ぶりで、こうして蒐められた典籍をもとに近代の文学者、思想家約八百名の伝記、業績に関する資料文献の老大なカードの作成には日本文学科の学生が総動員され、『近代文学研究叢書』の基礎的資料の基盤が築かれたのである。なお、母胎となった『文学遺跡巡礼』はその名の示す通り、生涯と業績に加えて遺跡の実地踏査、遺族の訪問記を特色としたが、本叢